

# ことばの教室通信

東小通級指導教室

9月 

暑い日が続いますが、いつの間にか、セミの声がコオロギの声に変わり、秋の気配が感じられるようになってきました。

夏の思い出と共に、なんだか一回り大きくなったような、成長を感じる姿で元気に活動している子どもたち。充実した夏休みを過ごすことができたようですね。学校生活のリズムを整え、前期のまとめをしっかりしていけるよう支援していきたいと思っています。

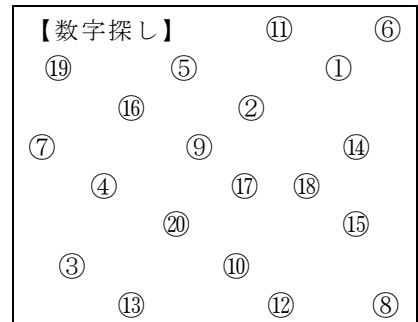
## ビジョントレーニングとは？



ビジョントレーニングとは、目でものの状態を捉える力を高め、見たものを正しく認識し、目で見たと情報に合わせて自分の身体をイメージ通りに動かす機能を向上させるためのトレーニングです。視覚機能の問題が学習や生活上の困りごとの要因の一つになることがあります。「ことばの教室」では、他の能力と兼ね合わせながら、視覚機能を高めるためのトレーニングをしています。御家庭でもできるビジョントレーニングを御紹介します。

### 【数字探し】

①～⑳までの数字をランダムに書きます。スタートの合図で①から順番に頭を動かさずに目だけで数字を追っていきます。数字の大きさや数を変えたり、○以外の形で数字を囲ったりすると難易度が上がります。

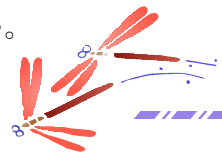


### 【あとだしじゃんけん】

二人でじゃんけんするとき、「あいこ」「勝つ」「負ける」の3種類の課題（ルール）を決めます。まず、相手が出したじゃんけんが「ポンッ」のかけ声で現れるので、それを見て次の「ポンッ」のかけ声と共に、課題（あいこ、勝つ、負ける）に即した自分のじゃんけんを返します。難易度が高いのは、負けるようにあとだしをすることです。

ゲームのように楽しんでできるので、御家庭でもやってみてください。

## 小さなよい変化に気付いていますか？



「這えば立て、立てば歩めの親心」という文言を聞いたことはありますか。親は子供が5までできると、7や8までできるんじゃないかと期待しがちです。しかし、子供は5を達成するだけでも必死で頑張り、息切れしているかもしれません。「これ以上、頑張れないよ。」という気持ちをいろいろなしぐさで出しているはず。努力の果実ばかり求めて大事なことを見落とさないように気を付けましょう。

努力する中で、多くの小さなよい変化が、しぐさに出ているはず。それをしっかり認めて、ほめてやりましょう。お茶碗を流しに運んだりとか、自分から「おはよう」と声をかけてきたとか。試験の点数には直接結びつきませんが、その子にとってはとても大事な変化です。取るに足らないと思えるくらいの小さな良いしぐさに、どれだけ親が気付いて評価できるかがポイントです。子供がこれから勢いづいて伸びていくエネルギーの源がここにあります。

「しぐさで子どもの心がわかる本」より